

- 学会. 大阪, 2009. 7. 23-25.
78. 緒方直史, 矢野文子, 鄭雄一, 中村耕三, 川口浩: Regulator of G protein signaling (RGS)-2 は $G\alpha_q$ /PKC シグナルを抑制して副甲状腺ホルモン(PTH)の骨同化作用を増強する. 第27回日本骨代謝学会. 大阪, 2009. 7. 23-25.
 79. 矢野文子, 鄭雄一, 池田敏之, 斎藤琢, 高戸毅, 中村耕三, 川口浩, 緒方直史: β カテニンは軟骨細胞の PTH/PTHrP 受容体の細胞内ドメインに直接結合して肥大分化を制御する. 第27回日本骨代謝学会. 大阪, 2009. 7. 23-25.
 80. 伊藤祥三, 斎藤琢, 牛田正宏, 池田敏之, 矢野文子, 緒方直史, 鄭雄一, 中村耕三, 川口浩: NF- κ B ファミリーメンバーRelA は Sox9 の転写誘導因子として軟骨細胞分化および骨格成長に必須である. 第27回日本骨代謝学会. 大阪, 2009. 7. 23-25.
 81. 金野智浩, 石原一彦: 自発形成-解離性リン脂質ポリマーハイドロゲルによる幹細胞保持と機能評価. 第58回高分子討論会, 熊本, 2009. 9. 16-18.
 82. 伊藤英也, 荻田達郎, 茂呂徹, 高取吉雄: ねじ込み式人工股関節寛骨臼コンポーネントに対する再置換術. 第36回日本股関節学会大会. 京都, 2009. 10. 30-31.
 83. 伊藤祥三, 斎藤琢, 牛田正宏, 池田敏之, 矢野文子, 緒方直史, 鄭雄一, 中村耕三, 川口浩: NF- κ B ファミリーメンバーRelA は SOX9 の転写誘導因子として軟骨細胞分化および骨格成長に必須である. 第24回日本整形外科学会基礎学術集会. 横浜, 2009. 11. 5-6.
 84. 緒方直史, 鄭雄一, 中村耕三, 川口浩: Regulator of G protein signaling (RGS)-2 を介した $G\alpha_q$ シグナルによる副甲状腺ホルモン(PTH)の骨同化作用の制御. 第24回日本整形外科学会基礎学術集会. 横浜, 2009. 11. 5-6.
 85. 平田真, 釘宮典孝, 斎藤琢, 深井厚, 河村直洋, 小笠原徹, 川崎洋介, 池田敏之, 中村耕三, 鄭雄一, 川口浩: C/EBP β / p57 シグナルは軟骨細胞の増殖から肥大分化への移行を促進して、骨格の成長および変形性関節症の発症を制御する. 第24回日本整形外科学会基礎学術集会. 横浜, 2009. 11. 5-6.
 86. 豊本泰央, 松野亮介, 金野智浩, 高井まどか, 石原一彦: MPC ポリマー/HAp ハイブリッドマトリックスの創製と細胞応答. 第31回日本バイオマテリアル学会大会. 京都, 2009. 11. 16-17.
 87. 金野智浩, 石原一彦: 細胞親和性ポリマーマトリックスを用いた均質細胞凝集塊形成とその機能. 第31回日本バイオマテリアル学会大会. 京都, 2009. 11. 16-17.
 88. 磯江晋輔, 松野亮介, 金野智浩, 高井まどか, 石原一彦: ポリマーブラシ表面がタンパク質吸着に与える因子の解明. 第31回日本バイ

- オマテリアル学会大会. 京都, 2009. 11. 16-17.
89. 徐知勲, 松野亮介, 金野智浩, 坂田利弥, 高井まどか, 石原一彦: バイオ分子・MPCポリマーコンジュゲートの光反応を利用した表面固定化と細胞パタン化への応用. 第31回日本バイオマテリアル学会大会. 京都, 2009. 11. 16-17.
90. 京本政之, 茂呂徹, 高取吉雄, 石原一彦: ポリ芳香族ケトン表面からの自己開始光グラフト重合による生体親和性ポリマー層の構築. 第31回日本バイオマテリアル学会大会. 京都, 2009. 11. 16-17.
91. 埴隆夫: 学会賞受賞講演 生体機能金属バイオマテリアル. 第31回日本バイオマテリアル学会大会. 京都, 2009. 11. 16-17.
92. 伊藤英也, 苅田達郎, 茂呂徹, 高取吉雄, : ねじ込み式人工股関節寛骨臼コンポーネントに対する再置換術. 第37回日本関節病学会. 東京, 2009. 11. 19-20.
93. 豊本泰央, 松野亮介, 金野智浩, 高井まどか, 石原一彦: MPCポリマー/ハイドロキシアパタイト複合体の作製. 第19回MRS-J. 横浜, 2009. 12. 9.
94. 伊藤英也, 苅田達郎, 高取吉雄, 茂呂徹, 角田俊治, 馬淵昭彦, 中村耕三: Metal-on-metal THAでhypersensitivityによる広範な骨溶解を生じた1例. 第40回日本人工関節学会. 沖縄, 2010. 2. 26-27.
95. 高取吉雄, 茂呂徹, 苅田達郎, 伊藤英也, , 赤坂義之, 角田俊治, 馬淵昭彦: Q5LPカップと摺動面を傷つけないライナー固定法の開発. 第50回関東整形外科学会. 東京, 3. 19-20, 2010.
96. 平田真, 釘宮典孝, 深井厚, 大庭伸介, 河村直洋, 小笠原徹, 川崎洋介, 斎藤琢, 矢野文子, 池田敏之, 中村耕三, 鄭雄一, 川口浩: C/EBP β /p57シグナルは軟骨細胞における増殖から肥大分化への移行を制御する(第15回日本軟骨代謝学会賞受賞口演). 第23回日本軟骨代謝学会. 2010. 4. 2-3(鹿児島県医師会館, 鹿児島).
97. 川崎洋介, 釘宮典孝, 筑田博隆, 池田敏之, 斎藤琢, 矢野文子, 中村耕三, 鄭雄一, 川口浩: cGMP-dependent kinase II (cGKII)はGSK3 β をリン酸化・不活化することによって軟骨細胞の肥大分化を制御する(第15回日本軟骨代謝学会賞受賞口演). 第23回日本軟骨代謝学会. 2010. 4. 2-3(鹿児島県医師会館, 鹿児島).
98. 平田真, 釘宮典孝, 深井厚, 斎藤琢, 菅哲徳, 東川晶郎, 矢野文子, 池田敏之, 中村耕三, 鄭雄一, 川口浩: C/EBP β はRunx2と協調してMMP13を転写誘導し、骨格成長や変形性関節症を制御する(シンポジウム「軟骨変性研究のカッチェングエッジ」). 第23回日本軟骨代謝学会. 2010. 4. 2-3(鹿児島県医師会館, 鹿児島).

99. 岡敬之、村木重之、阿久根徹、中村耕三、川口浩、吉村典子：高解像度MRIを用いた膝軟骨自動定量システムの確立. 第23回日本軟骨代謝学会. 2010. 4. 2-3(鹿児島県医師会館、鹿児島).
100. 森田充浩、山田治基、吉村典子、伊達秀樹、岡敬之、村木重之、阿久根徹、川口浩、中村耕三：地域住民コホートにおける変形性膝関節症および腰部変形性脊椎症の病期と生化学的マーカーとの関係 - 第2報 -. 第23回日本軟骨代謝学会. 2010. 4. 2-3(鹿児島県医師会館、鹿児島).
101. Kawaguchi H: Molecular backgrounds of cartilage degradation during osteoarthritis development. 第19回国際リウマチシンポジウム. 2010. 4. 22-25(神戸ポートピアホテル、兵庫).
102. 石原一彦、松野亮介、井上祐貴：細胞膜模倣ポリマーマテリアルのナノバイオ機能. 日本膜学会第32年会. 2010. 5. 13-14(東京)
103. 立石崇晴、京本政之、石原一彦：自己開始光グラフト重合による poly(ether-ether-ketone) (PEEK) の表面改質. 第59回高分子学会年次大会. 2010. 5. 26-28(横浜)
104. 立石崇晴、京本政之、石原一彦：自己開始光グラフト重合による poly(ether-ether-ketone) (PEEK) の表面改質. 第59回高分子学会年次大会. 2010. 5. 26-28(横浜)
105. 川口浩：骨粗鬆症の治療戦略 up-to-date：骨折予防・骨強度の視点から(ランチョンセミナー). 第83回日本整形外科学会学術総会. 2010. 5. 27-30(東京国際フォーラム、東京).
106. 川口浩：変形性関節症・脊椎症：その病態解明と治療の最前線(教育研修講演). 第83回日本整形外科学会学術総会. 2010. 5. 27-30(東京国際フォーラム、東京).
107. 赤坂義之、高取吉雄、荻田達郎、伊藤英也、茂呂徹、馬淵昭彦、中村耕三：臼蓋形成不全股における寛骨臼縁の骨性欠損 —3D-CTを用いて—. 第82回日本整形外科学会学術総会. 2010. 5. 27-30(東京)
108. 岡敬之、吉村典子、村木重之、中村耕三、川口浩、阿久根徹：日本一般住民における膝X線画像自動評価システムを用いた変形性膝関節症の検討. 第83回日本整形外科学会学術総会. 2010. 5. 27-30(東京国際フォーラム、東京).
109. 阿久根徹、村木重之、岡敬之、川口浩、中村耕三、吉村典子：ロコモティブシンドロームの基礎疾患である変形性膝関節症、変形性腰椎症、骨粗鬆症の有病率と運動機能との関連 - The ROAD study -. 第83回日本整形外科学会学術総会. 2010. 5. 27-30(東京国際フォーラム、東京).

110. 村木重之、阿久根徹、岡敬之、川口浩、中村耕三、吉村典子：変形性膝関節症における関節裂隙狭小化および骨棘形成に影響する職業関連因子 - The ROAD study -, 第 83 回日本整形外科学会学術総会. 2010. 5. 27-30 (東京国際フォーラム、東京).
111. 吉村典子、村木重之、岡敬之、川口浩、中村耕三、阿久根徹：変形性腰椎症と日常生活活動度の低下との関連 - The ROAD study -, 第 83 回日本整形外科学会学術総会. 2010. 5. 27-30 (東京国際フォーラム、東京).
112. 井上正理、遊佐真一、森島洋太郎、岩崎泰彦、柴田靖久：シリカゲル表面での pH 応答性ポリマーの精密グラフト重合. 第 59 回高分子学会年次大会. 2010. 5. 26-28 (横浜)
113. 松野大志、岩崎泰彦：重合性糖鎖を誘導した生細胞の表面修飾. 第 59 回高分子学会年次大会. 2010. 5. 26-28 (横浜)
114. 岩崎泰彦、中井康介、森垣憲一：生体膜を模したソフト界面のマイクロアレイ化. 第 59 回高分子学会年次大会. 2010. 5. 26-28 (横浜)
115. 井上祐貴、塚原剛彦、石原一彦：リン脂質ポリマーブラシ表面における水和状態がタンパク質吸着力に与える影響. 第 59 回高分子学会年次大会. 2010. 5. 26-28 (横浜)
116. 井上和臣、井上祐貴、塚原剛彦、石原一彦：リン脂質ポリマーブラシ表面の水和状態の定量解析. 第 59 回高分子学会年次大会. 2010. 5. 26-28 (横浜)
117. 小田悠加、金野智浩、坂田利弥、石原一彦：可逆形成性を有する細胞親和性ハイドロゲル内に固定化した細胞機能の解析. 第 59 回高分子学会年次大会. 2010. 5. 26-28 (横浜)
118. 増田紘一、松野亮介、金野智浩、高井まどか、石原一彦：細胞内での分子動態をイメージングするリン脂質ポリマー被覆量子ドット. 第 59 回高分子学会年次大会. 2010. 5. 26-28 (横浜)
119. 中西智亮、井上祐貴、松野亮介、高井まどか、石原一彦：タンパク質吸着における精密ポリマーブラシ表面の構造の効果. 第 59 回高分子学会年次大会. 2010. 5. 26-28 (横浜)
120. 北川ともみ、井上祐貴、高井まどか、石原一彦：構造明確なポリマー表面への細胞初期接着挙動の QCM-D による連続解析. 第 59 回高分子学会年次大会. 2010. 5. 26-28 (横浜) 石原一彦：リン脂質ポリマーブラシ表面の水和状態の定量解析. 第 59 回高分子学会年次大会. 2010. 5. 26-28 (横浜)
121. 石原一彦：生体に啓発されたポリマー分子設計からの先端医療への貢献. 高分子学会ポリマー

- フロンティア. 2010. 6. 11 (東京)
122. 中村洋, 角田俊治, 田中健之, 伊藤英也, 荻田達郎, 茂呂徹, 高取吉雄, 中村耕三: 股関節に発症した色素性絨毛結節性滑膜炎の1例. 関東整形外科学会月例会 第654回整形外科集談会. 2010. 6. 26 (東京)
123. 石原一彦: バイオインターフェイスを構築するポリマーの設計と応用. 2010. 7. 14-16 (仙台)
124. 川口浩, 岡敬之, 神宮司誠也, 泉敏弘, 福永仁夫, 佐藤克己, 松下隆, 中村耕三: リコンビナントヒト線維芽細胞増殖因子-2 (rhFGF-2) の脛骨骨幹部骨折に対する効果 - ランダム化プラセボ対照二重盲検比較試験 -. 第28回日本骨代謝学会(シンポジウム「骨折の治癒: 基礎と臨床」). 2010. 7. 21-23(京王プラザホテル, 東京).
125. 緒方直史, 鄭雄一, 中村耕三, 川口浩: PTHによる骨形成促進作用の分子メカニズム. 第28回日本骨代謝学会(カレントコンセプト「PTHの基礎と臨床」). 2010. 7. 21-23(京王プラザホテル, 東京).
126. 谷口優樹, 斎藤琢, 池田敏之, 鄭雄一, 中村耕三, 川口浩: 転写因子 p63 はその isoform の特異的な軟骨細胞分化調節によって軟骨内骨化を広く制御する(優秀演題賞受賞). 第28回日本骨代謝学会. 2010. 7. 21-23(京王プラザホテル, 東京).
127. 斎藤琢, 深井厚, 池田敏之, 阿久根徹, 中村耕三, 鄭雄一, 川口浩: HIF2A / NF- κ B シグナルは変形性関節症を制御する(優秀演題賞受賞). 第28回日本骨代謝学会. 2010. 7. 21-23(京王プラザホテル, 東京).
128. 阿久根徹, 村木重之, 岡敬之, 川口浩, 中村耕三, 吉村典子: 膝痛・腰痛とロコモティブシンドローム基礎疾患および日常生活活動との関連-The ROAD study. 第28回日本骨代謝学会. 2010. 7. 21-23(京王プラザホテル, 東京).
129. 吉村典子, 村木重之, 岡敬之, 川口浩, 中村耕三, 阿久根徹: 血清酒石酸抵抗性酸フォスファターゼ 5b (TRACP5b) 値と骨粗鬆症との関連: The ROAD Study. 第28回日本骨代謝学会. 2010. 7. 21-23(京王プラザホテル, 東京).
130. 吉村典子, 村木重之, 岡敬之, 川口浩, 中村耕三, 阿久根徹: 血清低カルボキシル化オステオカルシン(ucOC) 値と骨粗鬆症との関連: The ROAD Study. 第28回日本骨代謝学会. 2010. 7. 21-23(京王プラザホテル, 東京).
131. 井上祐貴, 石原一彦: 生体親和性ポリマーブラシ表面の水和状態. 第39回医用高分子シンポジウム. 2010. 7. 26-27 (東京)
132. 松本彬, 岩崎泰彦, 遊佐真一: リン酸基をもつ MPC ブロックコポリ

- リマーの合成と金属表面の修飾.
第 56 回高分子研究発表会. 2010.
7(神戸)
133. 池内亮太、岩崎泰彦：両親媒
性ポリリン酸エステルを修飾した
リポソームの Hsp 親和性. 第 56
回高分子研究発表会. 2010. 7(神
戸)
134. 脇篤史、岩崎泰彦：ホリホス
ファイトを用いたラシカル重合制
御. 第 56 回高分子研究発表会.
2010. 7(神戸)
135. 埴隆夫：金属表面酸化物皮膜
と抗組織適合性. 招待講演, 東北
大学金属材料研究所共同研究ワー
クショップ・日本バイオマテリア
ル学会東北地域講演会.
2010. 8. 31(仙台)
136. 松本彬、岩崎泰彦、遊佐真一：
金属表面に結合する MPC ブロック
コポリマーの精密合成. 日本バイ
オマテリアル学会 第 5 回 関西若
手研究発表会. 2010. 8(京都)
137. 片山晃一、岩崎泰彦：骨親和
材料を指向したポリリン酸エステ
ルの合成と石灰化に及ぼす影響.
日本バイオマテリアル学会 第 5
回 関西若手研究発表会. 2010.
8(京都)
138. 高取吉雄, 苅田達郎, 馬淵昭
彦, 中村耕三：人工股関節で用い
る寛骨臼コンポーネント「Q5LP カ
ップ」の初期固定性. 第 59 回東日
本整形災害外科学会. 2010.
9. 17-18 (盛岡)
139. 岩崎泰彦、中井康介、下村 享
嗣、森垣 憲一：リン脂質ポリマー
ブラシを用いた分子認識ソフト界
面の創製. 第 59 回高分子討論会.
2010. 9. 28-30 (北海道)
140. 松野大志、岩崎泰彦：重合性
糖鎖を誘導した細胞の表面改質.
第 59 回高分子討論会.
2010. 9. 28-30 (北海道)
141. 池内亮太、岩崎泰彦：骨親和
性を志向したポリリン酸エステル
修飾リポソーム の調製. 第 59 回
高分子討論会. 2010. 9. 28-30 (北
海道)
142. 京本政之、立石崇晴、石原一
彦：ポリ芳香族ケトン上での自己
開始グラフト重合による水和潤滑
軟骨模倣表面の創製. 第 59 回高分
子討論会. 2010. 9. 28-30 (北海道)
143. 徐知勲、松野亮介、金野智浩、
高井まどか、石原一彦：両親媒性
リン脂質ポリマーの内部拡散によ
るシリコーンエラストマーの親水
化特性の評価. 第 59 回高分子討論
会. 2010. 9. 28-30 (北海道)
144. 井上祐貴、塚原剛彦、石原一
彦：タンパク質吸着を劇的に抑制
するリン脂質ポリマーブラシ表面
における水和状態. 第 59 回高分子
討論会. 2010. 9. 28-30 (北海道)
145. 柴山崇、徐知勲、石原一彦、
高井まどか：PDMS/PMPC ジブロ
ックコポリマーを用いたナノドメイ
ン構造表面における細胞接着挙動
の解析. 第 59 回高分子討論会.
2010. 9. 28-30 (北海道)
146. 松野亮介、高見公章、石原一

- 彦：マイケル付加を利用したホスホリルコリン化合物ライブラリの構築. 第 59 回高分子討論会. 2010. 9. 28-30 (岡山)
147. 北川ともみ、井上祐貴、高井まどか、石原一彦：細胞初期接着挙動に基づくバイオメディカルポリマーブラシ表面の創製. 第 59 回高分子討論会. 2010. 9. 28-30 (北海道)
148. 大西宏之、溝川滋一、大西啓靖、京本政之、岩本幹生、上野勝：28 mm アルミナ骨頭と組み合わせられた架橋ポリエチレン (Aeonian) ソケットの摩耗. 第 37 回日本股関節学会. 2010. 10. 1-2 (福岡)
149. 角田俊治、田中健之、伊藤英也、中村耕三、茂呂徹、高取吉雄：重度臼蓋形成不全を伴う前・初期股関節症に対する寛骨臼回転骨切り術の長期成績. 第 37 回日本股関節学会学術集会. 2010. 10. 1-2 (福岡)
150. 伊藤英也、高取吉雄、茂呂徹、馬淵昭彦、角田俊治、田中健之、中村耕三：シンポジウム「寛骨臼回転骨切り術」寛骨臼回転骨切り術の長期成績. 第 37 回日本股関節学会学術集会. 2010. 10. 1-2 (福岡)
151. 川口浩：変形性関節症 up-to-date - その診断、治療、そして分子メカニズム研究の最前線 -. (ランチョンセミナー). 第 25 回日本整形外科学会基礎学術集会. 2010. 10. 14-15 (国立京都国際会館、京都).
152. 高取吉雄、石原一彦、茂呂徹、川口浩、中村耕三：シンポジウム「パフォーマンスの良い運動器基礎研究立案への官産学からの提言」学の立場から人工股関節開発の経験. 第 25 回日本整形外科学会基礎学術集会. 2010. 10. 14-15 (京都)
153. 京本政之、茂呂徹、石原一彦、雑賀健一、川口浩、中村耕三、高取吉雄：生体親和性リン脂質ポリマーをコバルトクロムモリブデン合金表面にグラフトする技術の開発. 第 25 回日本整形外科学会基礎学術集会. 2010. 10. 14-15 (京都)
154. 谷口優樹、池田敏之、斎藤琢、中村耕三、鄭雄一、川口浩：転写因子 p63 はその isoform の特異的な軟骨細胞分化調節によって軟骨内骨化を広く制御する. 第 25 回日本整形外科学会基礎学術集会. 2010. 10. 14-15 (国立京都国際会館、京都).
155. 川口浩、岡敬之、神宮司誠也、泉敏弘、福永仁夫、佐藤克己、松下隆、中村耕三：リコンビナントヒト線維芽細胞増殖因子-2 (rhFGF-2) の脛骨骨幹部骨折に対する効果 - ランダム化プラセボ対照二重盲検比較試験 -. 第 25 回日本整形外科学会基礎学術集会. 2010. 10. 14-15 (国立京都国際会館、京都).
156. 平田真、釘宮典孝、深井厚、

- 齋藤琢、菅哲徳、東川晶郎、矢野文子、池田敏之、中村耕三、鄭雄一、川口浩：C/EBP β と Runx2 と協調して MMP13 を転写誘導し、骨格成長と変形性関節症を制御する。第 25 回日本整形外科学会基礎学術集会。2010. 10. 14-15 (国立京都国際会館、京都)。
157. 深井厚、齋藤琢、馬淵昭彦、池田敏之、阿久根徹、吉村典子、中川匠、中村耕三、鄭雄一、川口浩：HIF-2A は変形性関節症を制御する転写因子である。第 25 回日本整形外科学会基礎学術集会。2010. 10. 14-15 (国立京都国際会館、京都)。
158. 岡敬之、村木重之、阿久根徹、中村耕三、川口浩、吉村典子：膝軟骨自動抽出ソフトウェアを用いた高解像度膝 MRI 解析 - The ROAD study -。第 25 回日本整形外科学会基礎学術集会。2010. 10. 14-15 (国立京都国際会館、京都)。
159. 阿久根徹、村木重之、岡敬之、川口浩、中村耕三、吉村典子：膝痛・腰痛とロコモティブシンドローム基礎疾患および日常生活活動との関連。第 25 回日本整形外科学会基礎学術集会。2010. 10. 14-15 (国立京都国際会館、京都)。
160. 森田充浩、山田治基、吉村典子、伊達秀樹、岡敬之、村木重之、阿久根徹、川口浩、中村耕三：地域住民コホートにおける変形性膝関節症の病期と生化学的マーカーとの関係 - 第 2 報 -。第 25 回日本整形外科学会基礎学術集会。2010. 10. 14-15 (国立京都国際会館、京都)。
161. 茂呂徹：ナノテクノロジーを応用した新しい人工関節の開発。第 8 回埼玉整形外科トピック・リエゾンセミナー。2010. 10. 21 (さいたま)。
162. 村木重之、阿久根徹、岡敬之、中村耕三、川口浩、吉村典子：大規模コホートスタディによる骨関節疾患と食事および運動との関連 - The ROAD Study - (パネルディスカッション)。第 28 回日本骨粗鬆症学会。2010. 10. 21-13 (大阪国際会議場、大阪)。
163. 吉村典子、村木重之、岡敬之、川口浩、中村耕三、阿久根徹：四肢筋量と骨粗鬆症の関連 - The ROAD study -。第 28 回日本骨粗鬆症学会。2010. 10. 21-13 (大阪国際会議場、大阪)。
164. 村木重之、阿久根徹、岡敬之、中村耕三、川口浩、吉村典子：膝伸展筋力の年代による推移および変形性膝関節症との相関 - The ROAD Study -。第 28 回日本骨粗鬆症学会。2010. 10. 21-13 (大阪国際会議場、大阪)。
165. 岡敬之、川口浩、村木重之、阿久根徹、中村耕三、吉村典子：高解像度 MRI を用いた変形性膝関節症スコアリングと膝痛との関連 - The ROAD Study -。第 28 回日

- 本骨粗鬆症学会. 2010. 10. 21-13 (大阪国際会議場、大阪).
166. 阿久根徹、村木重之、岡敬之、川口浩、中村耕三、吉村典子：ロコモティブシンドロームの基礎疾患である腰椎椎体骨折、変形性腰椎症、変形性膝関節症と運動機能との関連 - The ROAD study -. 第28回日本骨粗鬆症学会. 2010. 10. 21-13 (大阪国際会議場、大阪).
167. 埴隆夫：脊椎再建と金属材料. 第19回日本脊椎インストゥルメンテーション学会シンポジウム. 2010. 10. 29 (札幌)
168. 茂呂徹：ナノ表面制御による新しい人工関節の開発. 第33回股関節懇話会. 2010. 10. 30 (東京)
169. 角田俊治、高取吉雄、茂呂徹、伊藤英也、田中健之、中村耕三：股関節外転拘縮をきたした大理石骨病の1例. 第33回股関節懇話会. 2010. 10. 30 (東京)
170. 雑賀健一、京本政之、茂呂徹、石原一彦：繰り返し衝撃—摺動環境下におけるポリエチレンの摺動面・背面摩耗. 第37回日本臨床バイオメカニクス学会. 2010. 11. 1-2 (京都)
171. 茂呂徹：長寿命化を目指した新しい人工関節摺動面の開発. 第120回西日本整形災害外科学会. 2010. 11. 14 (佐賀)
172. 京本政之、茂呂徹、雑賀健一、立石崇晴、高取吉雄、石原一彦：自己開始光グラフト重合を用いた生体軟骨模倣 PEEK 摺動面の創製. 第32回日本バイオマテリアル学会大会. 2010. 11. 29-30 (広島)
173. 井上祐貴、塚原剛彦、石原一彦：ポリマーブラシ表面の水和状態を指標としたタンパク質吸着挙動の解明. 第32回日本バイオマテリアル学会大会. 2010. 11. 29-30 (広島)
174. 松野亮介、高見公章、石原一彦：マイケル付加反応を用いたホスホリルコリン化合物 ライブラリーの構築. 第32回日本バイオマテリアル学会大会. 2010. 11. 29-30 (広島)
175. 中西智亮、井上祐貴、松野亮介、高井まどか、石原一彦：タンパク質吸着力に対する精密ポリマーブラシ表面構造の効果. 第32回日本バイオマテリアル学会大会. 2010. 11. 29-30 (広島)
176. 埴隆夫：バイオフィルム・血栓形成防止金属表面. 第32回日本バイオマテリアル学会大会. 2010. 11. 29-30 (広島)
177. 増田紘一、松野亮介、金野智浩、高井まどか、石原一彦：細胞内環境応答型分子イメージングを特徴とするリン脂質被覆量子ドットの創製. 第32回日本バイオマテリアル学会大会. 2010. 11. 29-30 (広島)
178. 埴隆夫：金属材料を医療に生かすための基盤技術, 社団法人京都工業会ウェルネス産業人材育成セミナー「ものづくり技術をいか

- に医療関連分野に展開するか」.
2010. 12. 3 (京都)
179. 橋本雅美、柏木一美、北岡諭:
チタン金属の酸窒化処理によるア
パタイト形成能の向上. 平成 22
年度日本セラミックス協会東海支
部学術研究発表会. 2010. 12. 18
(名古屋)
180. 茂呂徹, 高取吉雄, 石原一彦,
京本政之, 荻田達郎, 伊藤英也,
角田俊治, 田中健之, 山脇昇, 雑
賀健一, 中村耕三, 川口浩: ポリ
エチレンライナー表面の MPC グラ
フト処理による長寿命型人工関節
の開発—粗面化した骨頭が MPC
処理に与える影響の検討—. 第 41
回人工関節学会. 2011. 2. 25-26
(東京)
181. 茂呂徹, 高取吉雄, 石原一彦,
京本政之, 雑賀健一, 中村耕三,
川口浩: 人工膝関節の脛骨コンポ
ーネント摺動面に対する MPC ポリ
マー処理. 第 41 回人工関節学会.
2011. 2. 25-26 (東京)
182. 雑賀健一, 京本政之, 茂呂徹,
伊藤英也, 川口浩, 中村耕三, 石
原一彦, 高取吉雄: ポリエチレン
厚さがライナーの摩耗・破壊に与
える影響—ピンオンディスク型試
験機による繰り返し衝撃—摺動試
験. 第 41 回人工関節学会. 2011. 2.
25-26 (東京)
183. 角田俊治, 伊藤英也, 田中健
之, 馬淵昭彦, 中村耕三, 高取吉
雄, 茂呂徹: セメントレス人工股
関節におけるデジタルテンプレー
トの信頼性. 第 41 回人工関節学会.
2011. 2. 25-26 (東京)
184. 田中健之, 伊藤英也, 角田俊
治, 馬淵昭彦, 中村耕三, 高取吉
雄, 茂呂徹: bipolar 型人工股関
節に対しセメントレス寛骨臼コン
ポーネントを用いた再置換術の検
討. 第 41 回人工関節学会. 2011. 2.
25-26 (東京)
185. 伊藤英也, 角田俊治, 田中健
之, 高取吉雄, 茂呂徹, 中村耕三:
両側再置換手術を行った
metal-on-metal THA の 1 例. 第 41
回人工関節学会. 2011. 2. 25-26
(東京)
186. 南和文、橋本雅美: Anca-Fit
型全人工股関節置換術後に発生し
たセラミック骨頭の破損. 第 41
回人工関節学会. 2011. 2. 25-26
(東京)
187. 田中健之, 伊藤英也, 角田俊
治, 茂呂徹, 高取吉雄: OSMED の
両側股関節症に対する治療経験.
第 34 回 関東股関節懇話会. 2011.
3. 5 (東京)
- ② 国際学会
1. Moro T, Takatori Y, Ishihara K,
Konno T, Kyomoto M, Yamamoto M,
Karita T, Ito H, Nakamura K,
Kawaguchi H: Grafting of
biocompatible polymer on the
liner surface for extending
longevity of artificial hip
joints. 8th World Biomaterials
Congress (WBC) 2008. 5. 28-6. 1

- (Amsterdam, The Netherlands)
2. Kyomoto M, Moro T, Kawaguchi H, Takatori Y, Nakamura K, Ishihara K: Nanometer-scale high lubricious surface modification extends the durability of artificial joint. 8th World Biomaterials Congress (WBC) 2008. 5. 28-6. 1 (Amsterdam, The Netherlands)
 3. Futamura K, Ishihara K: Quick Providing of Hydrophilic and Protein Adsorption Resistant Surface by Phospholipid Polymers. 8th World Biomaterials Congress (WBC) 2008. 5. 28-6. 1 (Amsterdam, The Netherlands)
 4. Ishiyama N, Moro T, Miura T, Ohe T, Ito S, Konno T, Yoshikawa M, Ohyama T, Ishihara K, Nakamura K, Kawaguchi H: Investigation of biodissociated phospholipid polymer hydrogel that prevents tissue adhesion without impairing healing. 8th World Biomaterials Congress (WBC) 2008. 5. 28-6. 1 (Amsterdam, The Netherlands)
 5. Asanuma Y, Ishihara K: Multi-Biofunctional Phospholipid Block Polymer Alloys with Segmented Polyurethane. 8th World Biomaterials Congress (WBC) 2008. 5. 28-6. 1 (Amsterdam, The Netherlands)
 6. Matsuno R, Ishihara K: Well Defined Phospholipid Polymer Grafting over Quantum Dot using RAFT Polymerization. 8th World Biomaterials Congress (WBC) 2008. 5. 28-6. 1 (Amsterdam, The Netherlands)
 7. Goda T, Ishihara K: Protein Resistance on Polymer-grafted PDMS using Photoinitiation Performance of Ketones. 8th World Biomaterials Congress (WBC) 2008. 5. 28-6. 1 (Amsterdam, The Netherlands)
 8. Ishihara K: Cytocompatible Phospholipid Polymer Hydrogel Scaffold with Tunable Cell Capturing Ligand Density. 8th World Biomaterials Congress (WBC) 2008. 5. 28-6. 1 (Amsterdam, The Netherlands)
 9. Choi J, Ishihara K: Multilayered phospholipid polymer hydrogel for regulating cell functions by self-tuning bioactive agent. 8th World Biomaterials Congress (WBC) 2008. 5. 28-6. 1 (Amsterdam, The Netherlands)
 10. Konno T, Ishihara K: Non-fluidic Cell Culture Medium for Maintaining Cell Functions; Cell-Container Based on Reversible Phospholipid Polymer Hydrogel with Highly Cytocompatibility. 8th World Biomaterials Congress (WBC)

2008. 5. 28-6. 1 (Amsterdam, The Netherlands)
11. Hanawa T, Nishimura D, Tsutsumi Y, Doi H, Nomura N. Zirconium coating on titanium for inhibition of assimilation with bone. 8th World Biomaterials Congress (WBC) 2008. 5. 28-6. 1 (Amsterdam, The Netherlands)
 12. Tanaka Y, Saito H, Matsuo Y, Tsutsumi Y, Doi H, Yoneyama T, Hanawa T. Characterization and biofunctions of poly(ethylene glycol) immobilized on metals with electrodeposition. 8th World Biomaterials Congress (WBC) 2008. 5. 28-6. 1 (Amsterdam, The Netherlands)
 13. Oya K, Sakamoto H, Tanaka Y, Kimura T, Tsutsumi Y, Doi H, Hanawa T. Bone differentiation property of osteoblast-like cells on metals. 8th World Biomaterials Congress (WBC) 2008. 5. 28-6. 1 (Amsterdam, The Netherlands)
 14. Pecheva E, Doi H, Tsutsumi Y, Tanaka Y, Sakamoto H, Hanawa T. Electrodeposition of hydroxyapatite-nanodiamond composite on stainless steel. 8th World Biomaterials Congress (WBC) 2008. 5. 28-6. 1 (Amsterdam, The Netherlands)
 15. Yoneyama T, Komiya T, Fukushima O, Tanaka Y, Tsutsumi Y, Doi H, Hanawa T. Nickel-free and corrosion-resistant surface oxide layer on titanium-nickel alloy by electrolytic treatment. 8th World Biomaterials Congress (WBC) 2008. 5. 28-6. 1 (Amsterdam, The Netherlands)
 16. Iwasaki Y, Enomoto S, Wachiralarpphaithoon C, Akiyoshi K: Biodegradable thermoresponsive phosphoesters. 8th World Biomaterials Congress (WBC) 2008. 5. 28-6. 1 (Amsterdam, The Netherlands)
 17. Srimaneepong V, Adunypichet N, Weerasawat S, Yoneyama T, Kobayashi E, Hanawa T, Doi H. Effect of laser-welding on mechanical strength of Ti-6Al-7Nb alloy castings. IADR 86th General Session & Exhibition. 2008.6. (Toronto, Canada)
 18. Oonishi H, Kim SC, Kyomoto M, Iwamoto M, Ueno M, Oonishi H: Clinical results of total hip prostheses with alumina ceramic head combined with UHMWPE socket for 19-21 years by radiographical study. SICOT/SIROT 2008 XXIV Triennial World Congress. 2008. 8. 24-28. (Hong Kong, Hong Kong)
 19. Kim SC, Oonishi H, Oonishi H, Kyomoto M, Iwamoto M, Ueno M: The

- design history and clinical results of ceramic total knee prosthesis for 26 years. SICOT/SIROT 2008 XXIV Triennial World Congress. 2008.8.24-28. (Hong Kong, Hong Kong).
20. Iwamoto M, Kim SC, Oonishi H, Kyomoto M, Ueno M, Oonishi H: In vivo oxidation of retrieved PE inserts with gamma-ray and ethylene oxide gas sterilization in total knee prostheses. SICOT/SIROT 2008 XXIV Triennial World Congress. 2008.8.24-28. (Hong Kong, Hong Kong)
 21. Moro T, Takatori Y, Kyomoto M, Ishihara K, Nakamura K, Kawaguchi H: Biocompatible phospholipid polymer grafting on liner surface of artificial hip joints enhances the wear resistance independently of liner cross-linking of femoral head material. 2008 World Congress on Osteoarthritis (OARSI). 2008. 9.18-21 (Rome, Italy)
 22. Kawaguchi H: Transcriptional regulation of osteoarthritis progression (Symposium: Update on Osteoarthritis: from Bench to Bedside - APLAR-OARSI Co-Sponsored Symposium). The 13th Congress of the Asia Pacific League of Associations for Rheumatology (APLAR 2008). 2008. 9.23-27 (Yokohama, Japan)
 23. Tsutsumi Y, Takano Y, Doi H, Noda K, Hanawa T. Corrosion behavior of Zr-Pt and Zr-Pd alloys for biomaterials in simulated body fluid. Pacific Rim Meeting on Electrochemical and Solid-State Science (PRiME2008). 2008.10. (Hawaii, U.S.A)
 24. Oonishi H, Kim SC, Oonishi H, Kyomoto M, Iwamoto M, Ueno M: Retrieval study of in vivo wear and oxidation of highly cross-linked polyethylene acetabular cup against ceramic head. The 21th Annual Symposium of the International Society for Technology and Arthroplasty (ISTA). 2008.10.2-4. (Seoul, Korea)
 25. Oonishi H, Kim SC, Oonishi H, Kyomoto M, Iwamoto M, Ueno M: effects of roundness and roughness of alumina ceramic head on wear properties for long-term clinical use. The 21th Annual Symposium of the International Society for Technology and Arthroplasty (ISTA). 2008.10.2-4. (Seoul, Korea)
 26. Tanaka Y, Kondo R, Tsutsumi T, Doi H, Nomura N, Hanawa T. Magnetic susceptibility of Zr-Nb alloys to prevent

- artifacts in MRI. 4th International Symposium on Designing, Processing and Properties of Advanced Engineering Materials. 2008. 11. (Nagoya, Japan)
27. Kondo R, Tsutsumi Y, Doi H, Nomura N, Ikeda M, Hanawa T. Corrosion resistance and mechanical properties of dental cast Zr-Nb-Pt and Zr-Nb-Pd ternary alloys. 4th International Symposium on Designing, Processing and Properties of Advanced Engineering Materials. 2008. 11. (Nagoya, Japan)
28. Nomura N, Tagiri J, Jin T, Lee S-H, Hanawa T, Chiba A. Effect of boron and nitrogen addition on microstructure and mechanical properties of Co-29Cr-6Mo alloys for biomedical applications. 4th International Symposium on Designing, Processing and Properties of Advanced Engineering Materials. 2008. 11. (Nagoya, Japan)
29. Moro T, Takatori Y, Ishihara K, Kyomoto M, Karita T, Ito H, Nakamura K, Kawaguchi H: The effect of biocompatible polymer grafting onto polyethylene liner surface: Improvement of lubricity regardless of the characteristics of bearing materials. The 55th Annual Meeting of the Orthopaedic Research Society (ORS). 2009. 2. 22-25 (Las Vegas, USA)
30. Kyomoto M, Moro T, Miyaji F, Kawaguchi H, Takatori Y, Nakamura K, Ishihara K: Brush-like structure only gives high durability to cross-linked polyethylene among various surface-modified layers with MPC polymer. The 55th Annual Meeting of the Orthopaedic Research Society (ORS). 2009. 2. 22-25 (Las Vegas, USA)
31. Ishiyama N, Moro T, Miura T, Ohe T, Ito S, Konno T, Yoshikawa M, Ohyama T, Ishihara K, Nakamura K, Kawaguchi H: Anti-adhesion effect without impairing healing of biocompatible phospholipid polymer hydrogel. The 55th Annual Meeting of the Orthopaedic Research Society (ORS). 2009. 2. 22-25 (Las Vegas, USA)
32. Oonishi H, Kim SC, Kyomoto M, Iwamoto M, Ueno M, Oonishi H: Alumina ceramics versus metallics; comparison of roundness and roughness of retrieved femoral heads. The 55th Annual Meeting of the Orthopaedic Research Society (ORS). 2009. 2. 22-25 (Las Vegas, USA)

33. Oonishi H, Kim SC, Kyomoto M, Iwamoto M, Ueno M, Oonishi H: In vivo wear and oxidation degradation of retrieved highly cross-linked polyethylene cup against ceramic femoral head. The 55th Annual Meeting of the Orthopaedic Research Society (ORS). 2009. 2. 22-25 (Las Vegas, USA)
34. Higashikawa A, Saito T, Kamekura S, Ikeda T, Kan A, Moro T, Ohba S, Ogata N, Nakamura K, Chung UI, Kawaguchi H: Transcriptional Regulation of Type X Collagen Expression and Hypertrophic Differentiation of Chondrocytes by Runx2 during Osteoarthritis Progression. The 55th Annual Meeting of the Orthopaedic Research Society (ORS). 2009. 2. 22-25 (Las Vegas, USA)
35. Iwasaki Y, Omichi Y, Iwata R: Site-specific dense immobilization of F(ab') on polymer brushes supported by organosilane nanofilaments. 33rd Society for Biomaterials Annual Meeting, San Antonio, USA, 2009. 4. 22-25.
36. Kawaguchi H, Chikuda H, Kawasaki Y, Hofmann F: Cyclic GMP-dependent protein kinase II promotes chondrocyte hypertrophy and skeletal growth. 4th International Conference on cGMP. Rosensburg, Germany, 2009. 6. 19-21.
37. Moro T, Takatori Y, Kyomoto M, Ishihara K, Karita T, Ito H, Nakamura K, Kawaguchi H: Biocompatible Poly(MPC) Grafting on the Liner Surface of Artificial Hip Joints Enhances the Wear Resistance Independently of Femoral Head Material. 22nd Annual conference of the European Society for Biomaterials (ESB). Lausanne, Switzerland, 2009. 9. 7-11.
38. Kyomoto M, Moro T, Miyaji F, Yamawaki N, Kawaguchi H, Takatori Y, Nakamura K, Ishihara K: Cross-linked brush-like structure of surface-modified layers gives high durability to joint replacement. 22nd Annual conference of the European Society for Biomaterials (ESB). Lausanne, Switzerland, 2009. 9. 7-11.
39. Shibata Y, Iwasaki Y: Surface modification of photoluminescent silicon nanocrystals. 22nd Annual conference of the European Society for Biomaterials (ESB). Lausanne, Switzerland, 2009. 9. 7-11.
40. Iwasaki Y, Kawakita T: Thermoresponsive

- polyphosphoesters bearing enzyme-cleavable side chains. 22nd Annual conference of the European Society for Biomaterials (ESB). Lausanne, Switzerland, 2009. 9. 7-11.
41. Itoh S, Saito T, Ushita M, Ikeda T, Yano F, Ogata N, Chung UI, Nakamura K, and Kawaguchi H: NF-kappa B family member RelA/p65, a transcription factor of Sox9, is essential for chondrogenic differentiation and skeletal growth (Young Investigator Award). 2009 World Congress on Osteoarthritis (OARSI). Montreal, Canada, 2009. 9. 10-13.
 42. Hirata M, Kugimiya F, Fukai A, Saito T, Kan A, Higashikawa A, Yano F, Ikeda T, Nakamura K, Chung UI, and Kawaguchi H: Distinct transcriptional control of chondrocyte hypertrophy and cartilage degeneration by C/EBP-beta and Runx2 during endochondral ossification. 2009 World Congress on Osteoarthritis (OARSI). Montreal, Canada, 2009. 9. 10-13.
 43. Fukai A, Kawamura N, Saito T, Ikeda T, Ogata N, Nakamura K, Chung UI, and Kawaguchi H: Akt1 in chondrocytes controls cartilage calcification during osteophyte formation in osteoarthritis. 2009 World Congress on Osteoarthritis (OARSI). Montreal, Canada, 2009. 9. 10-13.
 44. Yano F, Ikeda T, Saito T, Ogata N, Hojo H, Kimura A, Takeda S, Takato T, Nakamura K, Kawaguchi H, and Chung UI: A novel thienoindazole-derivative small compound induces chondrogenic differentiation without promoting hypertrophy through Runx1 (Young Investigator Award). 31th annual meeting of the American Society for Bone and Mineral Research (ASBMR). Denver, USA, 2009. 9. 11-15.
 45. Saito T, Fukai A, Ikeda T, Yano F, Hirata M, Kan A, Nakamura K, Chung UI, and Kawaguchi H: Comprehensive control of endochondral ossification by HIF-2 α during skeletal growth and osteoarthritis progression. 31th annual meeting of the American Society for Bone and Mineral Research (ASBMR). Denver, USA, 2009. 9. 11-15.
 46. Hikata T, Saito T, Takaishi H, Akiyama H, Nakamura T, Yamaguchi A, Matsumoto M, Chiba K, Toyama Y, and Kawaguchi H: Notch/RBPJk/Hes1 signaling controls terminal

- differentiation of chondrocytes during endochondral ossification. 31th annual meeting of the American Society for Bone and Mineral Research (ASBMR). Denver, USA, 2009. 9.11-15.
47. Ogata N, Yano F, Chikazu D, Chung UI, Nakamura K, Kawaguchi H: Regulator of G protein signaling (RGS)-2 enhances bone anabolic action of PTH through inhibition of $G\alpha q$ /PKC pathway in osteoblasts. 31th annual meeting of the American Society for Bone and Mineral Research (ASBMR). Denver, USA, 2009. 9.11-15.
48. Kyomoto M, Moro T, Miyaji F, Kawaguchi H, Takatori Y, Nakamura K, Ishihara K: High-density brush-like structure mimicking cartilage gives high durability to cross-linked polyethylene. 4th UHMWPE International Meeting. Torino, Italy, 2009. 9. 16-18.
49. Hashimoto, M, Mineo, M, Kitaoka, S, Takadama, H, Ueno, M: Influence of Lubricant on Morphology of UHMWPE Debris in Hip Joint Simulator: *9th Asian Bioceramics Symposium (ABC2009)*, Nagoya Congress Center, Nagoya, Japan, 8-11 Dec. 2009
50. Kyomoto M, Moro T, Takatori Y, Kawaguchi H, Nakamura K, Ishihara K: Self-initiated surface graft polymerization of poly(2-methacryloyloxyethyl phosphorylcholine) on PEEK and carbon fiber reinforced PEEK for orthopaedic and spinal applications. 56th Annual Meeting of the Orthopaedic Research Society (ORS). New Orleans, USA, 2010. 3. 6-9.
51. Kyomoto M, Moro T, Saiga K, Miyaji F, Kawaguchi H, Takatori Y, Nakamura K, Ishihara K: Biocompatible polymer layer on Co-Cr-Mo surface for hemi-arthroplasty prevents degeneration of cartilage. 56th Annual Meeting of the Orthopaedic Research Society (ORS). New Orleans, USA, 2010. 3. 6-9.
52. Moro T, Takatori Y, Ishihara K, Kyomoto M, Karita T, Ito H, Tsunoda T, Saiga K, Nakamura K, Kawaguchi H: Biocompatible phospholipid polymer grafting improves the wear resistance of artificial hip joints regardless of the degree of cross-linking. 2010 Annual Meeting & Exposition of the Society for Biomaterials (SFB). 2010. 4. 21-24 (Seattle, USA)
53. Kyomoto M, Moro T, Saiga K, Onomoto H, Takatori Y, Ishihara

- K: Self-initiated surface graft polymerization from PEEK brings smart orthopaedic biomaterials. 2010 Annual Meeting & Exposition of the Society for Biomaterials (SFB). 2010. 4. 21-24 (Seattle, USA)
54. Matsuno H, Iwasaki Y: Metabolic expression of methacrylate-derivatized sialic acids and surface modification on the living cells. 2010 Annual Meeting & Exposition of the Society for Biomaterials (SFB). 2010. 4. 21-24 (Seattle, USA)
55. Iwasaki Y, Nakai K, Morigaki, K: Specific protein binding on fluidic lipid bilayer microarray corralled by well-defined polymer brushes. 2010 Annual Meeting & Exposition of the Society for Biomaterials (SFB). 2010. 4. 21-24 (Seattle, USA)
56. Seo JH, Matsuno R, Lee Y, Konno T, Takai M, Ishihara K: Conformational stability of proteins conjugated with water-soluble phospholipid polymer from heat-induced denaturation: Effect of the hydrophilicity of the polymer materials. 2010 Annual Meeting & Exposition of the Society for Biomaterials (SFB). 2010. 4. 21-24 (Seattle, USA)
57. Nakanishi T, Inoue Y, Matsuno R, Takai M, Ishihara K: Significant Parameters of Polymer Brush Surface Related with Protein Adsorption. 2010 Annual Meeting & Exposition of the Society for Biomaterials (SFB). 2010. 4. 21-24 (Seattle, USA)
58. Oonishi H, Kim SC, Kyomoto M, Iwamoto M, Ueno M, Oonishi H: Comparison of retrieved alumina ceramic TKP to cobalt-chrome alloy TKP after long-term clinical use. 11th European Federation of National Associations of Orthopaedics and Traumatology (EFORT) Congress. 2010. 6. 1-5 (Madrid, Spain)
59. Oonishi H, Kim SC, Kyomoto M, Iwamoto M, Ueno M, Oonishi H: In vivo wear of highly cross-linked polyethylene acetabular cup against alumina ceramic head. 11th European Federation of National Associations of Orthopaedics and Traumatology (EFORT) Congress. 2010. 6. 1-5 (Madrid, Spain)
60. Ishihara K, Inoue Y: Essential Factors to Make Excellent Biocompatibility of Phospholipid Polymer Materials. 12th International Conference on Modern Materials and

- Technologies (CIMTEC) 2010. 6. 9-18 (Tuscany, Italy)
61. Ishihara K, Kyomoto M: Photoinduced Functionalization on Biomaterials Surface. The 27th International Conference of Photopolymer Science and Technology. 2010. 6. 22-25 (Chiba, Japan)
 62. Ishihara K, Nakanishi T, Takai M, Inoue Y: Nanoforce Measurement During Protein Adsorption to Well-controlled Polymer Brush Surfaces. The Third International NanoBio Conference. 2010. 8. 24-27 (Zurich, Switzerland)
 63. Kitagawa T, Inoue Y, Takai M, Ishihara K: Monitoring of Initial Cell Adhesion Process on Nanometer-scaled and Organized Surfaces. The Third International NanoBio Conference. 2010. 8. 24-27 (Zurich, Switzerland)
 64. Matsuno R, Takami K, Ishihara K: Michael-type addition of 2-methacryloyloxyethyl phosphorylcholine with thiol compounds for preparing biocompatible molecules. The Third International NanoBio Conference. 2010. 8. 24-27 (Zurich, Switzerland)
 65. Fukazawa K, Li Q, Seeger S, Ishihara K: Molecular-nanointegrated Surface for Selective Protein Recognition by Molecular Imprinting Concept. The Third International NanoBio Conference. 2010. 8. 24-27 (Zurich, Switzerland)
 66. Iwasaki Y, Nakai K, Morigaki K: Specific protein binding on phospholipid bilayer array corralled by nonfouling polymer brushes. 240th ACS National Meeting. 2010. 8 (Boston, USA)
 67. Yamaguchi E, Iwasaki Y: Synthesis of biocompatible block copolymers using well-defined polyphosphoester macroinitiators. 240th ACS National Meeting. 2010. 8 (Boston, USA)
 68. Hanawa T: The biofunctionalization of Metals, Finishi-Japanese Seminar on Biomaterials and Implant "Development of Inorganic Biomaterials with Novel Functions" . Aalto University Foundation. 2010. 9. 10 (Helsinki, Finland)
 69. Fukai A, Saito T, Mabuchi A, Ikeda T, Yano F, Ohba S, Nishida N, Akune T, Yoshimura N, Nakagawa T, Nakamura K, Tokunaga K, Chung UI, Kawaguchi H: HIF2A / NF-kappa B signal in chondrocytes controls extensive

- steps of osteoarthritis development in mice and humans (Young Investigator Award). 2010 World Congress on Osteoarthritis (OARSI). 2010. 9.23-26 (Brussels, Belgium).
70. Kawaguchi H: Endochondral ossification signal: A potential therapeutic target for osteoarthritis (invited lecture). 2010 World Congress on Osteoarthritis (OARSI). 2010. 9.23-26 (Brussels, Belgium).
71. Hirata M, Kugimiya F, Fukai A, Saito T, Yano F, Ikeda T, Nakamura K, Chung UI, Kawaguchi H: Molecular network on the C/EBP-beta axis including Runx2, MMP13, and HIF2A controls osteoarthritis development (Young Investigator Award). 2010 World Congress on Osteoarthritis (OARSI). 2010. 9.23-26 (Brussels, Belgium).
72. Akune T, Muraki S, Oka H, Nakamura K, Kawaguchi H, Yoshimura N: Association of occupational activity with joint space narrowing and osteophytosis at the knee: The ROAD study. 2010 World Congress on Osteoarthritis (OARSI). 2010. 9.23-26 (Brussels, Belgium).
73. Hanawa T: Biofunctionalization of metals for medical devices with functional garded surface layer. Plenary Lecture, 11th International Symposium on Multiscale, Multifunctional and Functionally Graded Materials. 2010. 9.29 (Guimarães, Portugal)
74. Kawaguchi H, Oka H, Jingushi S, Izumi T, Fukunaga M, Sato K, Matsushita T, and Nakamura K: A local application of recombinant human fibroblast growth factor-2 for tibial shaft ractures: A randomized, double-blind, placebo-controlled trial. 32th annual meeting of the American Society for Bone and Mineral Research (ASBMR). 2010. 10.15-19 (Toronto, Canada).
75. Yoshimura N, Muraki S, Oka H, Kawaguchi H, Nakamura K: Association of changes in serum levels of intact parathyroid hormone with changes in biochemical markers of bone turnover and bone mineral density: A 10-year follow-up of the Taiji Cohort. 32th annual meeting of the American Society for Bone and Mineral Research (ASBMR). 2010. 10.15-19 (Toronto, Canada).
76. Muraki S, Akune T, Oka H, Nakamura K, Kawaguchi H, Yoshimura N: Gender differences in factors associated with falls in a population-based